

令和5年度ミズナラ豊凶結果について

1 ミズナラの調査目的

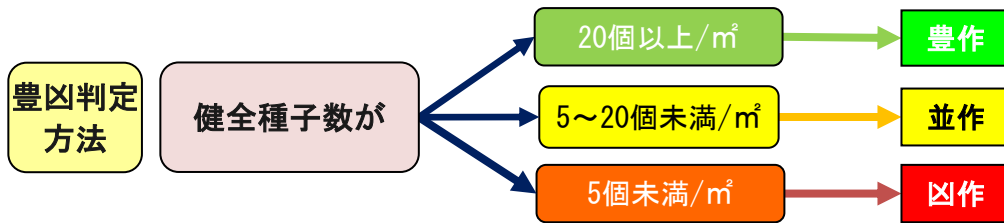
野生動物の生息動向に影響を与えられとされるミズナラの豊凶を調査することにより、森林生態系等への影響や異変を察知し、その原因を解明します。

2 調査方法及び調査時期

県内9カ所のミズナラ林の調査地にトラップ(1㎡の円形ネット)を設置し、トラップに落下したミズナラの実を数えます。
調査時期は実が落下する9月～11月頃に行っております。

3 ミズナラの豊凶基準及び結果

ミズナラの豊凶については、これまでの調査結果とミズナラに関する論文を参考にし、下記のとおり豊凶基準を作成しております。(トラップ(5個:a, 10個:b)に落下した種子を判別して、その中の健全種子数が20個以上/㎡を豊作、5～20個未満/㎡並作、5個未満を凶作とする。)



豊凶結果				
	調査箇所	健全種子数 (個/㎡)	虫害種子数 (個/㎡)	豊凶判定 結果
1	西小俣(a)	0.0	2.5	凶作
2	日山(a)	0.2	25.6	凶作
3	弓張平(a)	0.4	15.0	凶作
4	花立峠(a)	0.0	1.0	凶作
5	鍋越峠(b)	0.0	19.2	凶作
6	黒伏(b)	0.5	50.6	凶作
7	岩根沢(b)	—	—	判定できず※
8	蔵王温泉(a)	9.2	80.8	並作
9	源流の森(a)	1.0	6.0	凶作

※ 岩根沢 土砂崩れでトラップを設置できず

ミズナラ豊凶結果 位置図

令和5年12月1日
山形県環境科学センター

